

# 福岡県飯塚地区での13年間の口腔がん検診について

福田 浩子<sup>1)</sup> 喜久田利弘<sup>1)</sup> 福田 仁一<sup>2)</sup>  
飯塚歯科医師会<sup>3)</sup>

<sup>1)</sup> 福岡大学医学部医学科歯科口腔外科学講座

<sup>2)</sup> 九州歯科大学名誉教授

<sup>3)</sup> 一般社団法人飯塚歯科医師会

**要旨：**口腔がんは病期が進行すると、侵襲度の大きな外科的治療により口腔・顔面の機能や容姿に支障を来す可能性があり、早期発見と早期治療は非常に重要である。

飯塚歯科医師会は地域行政と協力して平成2年度より口腔がん検診を開始した。今回、検診の資料がそろっている平成12年度から平成24年度までの13年間の検診結果の集計結果を検討した。

**対象と方法：**対象は飯塚歯科医師会担当地区である飯塚市、嘉麻市、桂川町の住民で口腔がん検診を希望し、受診した3,248名である。方法は検診時に使用した問診票とそれを元に作成した関係市町村宛の報告書（グラフおよび表）を基に年齢、性別、検診の受診歴、受診理由、受診結果、家族・血縁関係でのガンの有無、義歯装着の有無、喫煙の有無、飲酒の有無について検討した。

**結果：**受診者数は各年度の検診開催回数に比例しており、市町村合併により検診回数が減少した平成19年に急激に減少していた。受診率として性別では男性843人、女性2,405人（男：女1：2.85）で女性が男性のほぼ3倍を占めており、また年齢分布として50歳以上の受診者が全体の90%（2,925 / 3,248名）を占め60歳代女性の受診率が28.1%（913 / 3,248名）と特に高い割合を示していた。受診理由としては舌・口腔内違和感28.0%と健康目的26.2%で全体の過半数を占めていた。検診時に確認された病変は880名1,090症例で、疾患別にみると口腔粘膜疾患が35.5%、腫瘍性疾患が16.1%、神経性疾患が13.9%、炎症性疾患が8.3%と続いており、その他の疾患については5%未満であった。

**考察：**飯塚地区口腔がん検診では他の地域での口腔がん検診の報告と比べると罹患検出率は低い割合ではあったが、前癌病変や腫瘍疑いの症例が検出され、検診時には的確な病院受診および検査指示が出されていた。

**まとめ：**口腔がん検診は口腔領域の粘膜病変、前癌病変や腫瘍疑い病変を早期発見する良い機会となっていた。今後、口腔がん検診の診断者の充実と地域住民の口腔がんに対する認識の向上を促す努力が必要と考えられた。

**キーワード：**口腔がん、集団検診、飯塚地区